



笑顔で暮らせる健康づくり

2

健康増進に向けた意欲向上

健康

健康づくりフォーラム 440 万円
姉妹都市健康交流 30 万円

健康づくりフォーラムを開催するほか、貯めた健康ポイントを町の商品券と交換できる、「まさき健康ポイント」を継続します。また、姉妹都市である北海道まつまえ町との健康交流（詳しくは、広報まさき5月号で紹介予定）を行うなど、町民の皆さんが楽しく健康づくりに取り組める事業を行います。

新型コロナワクチン接種

健康

ワクチン接種委託 3,753 万円
コールセンター業務委託 1,287 万円
接種会場設営等委託等 1,620 万円

皆さんが安心して接種できるよう医療機関と連携しながら、新型コロナワクチン接種を行います。

▶追加接種（3回目）や小児用ワクチン接種の対象者に案内を送付しています。案内が届いた人で、接種を希望する人はご予約を（予約方法など詳しくはP14）。

出産後の育児不安の解消

健康

産後ケア 360 万円

産後4カ月未満の母親と乳児のうち、家族から十分な支援が受けられない人などを対象に、心身のケアや育児指導を無料で実施。産後うつを予防し、安心して子育てができる支援体制を整えます。



子ども医療費の助成

子育て

子ども医療費 1 億 3,200 万円

「中学生までの子どもの医療費無料化」を継続し、安心して子どもを生み、育てることができるまちづくりを進めます。



保育施設などの環境整備

子育て

白鶴保育所改築 5 億 5,100 万円
二名保育所解体 5,009 万円
岡田保育園施設整備事業費補助金 347 万円
私立保育所等感染症対策支援 190 万円

老朽化した白鶴保育所の改築工事や閉園した二名保育所の解体工事を行うほか、岡田保育園の旧園舎解体にかかる費用の補助を行います。また、私立保育所などが新型コロナウイルス感染症対策に要した経費への補助を行うなど、安全安心な保育環境を整えます。

特集

令和4年度

まちの取り組みとお金の使い道



町民の皆さんにとって、より住みやすい、快適なまちづくりのため、4年度の取り組みとお金の使い道を計画しました。まちづくりの五つの柱に沿って紹介します。

1

松前の五つの基本政策

安全・安心な

生活環境づくり

防災・防犯



防災・減災の促進

防災

防災用監視カメラ増設 813 万円
高潮ハザードマップ作成業務委託 300 万円

降雨時に河川の水量などを確認するため、長尾谷川河口に防災用監視カメラを設置するほか、愛媛県が公表した高潮浸水想定区域図に基づき、高潮ハザードマップを作成するなど、防災・減災の促進に取り組みます。

運転免許自主返納支援

安全

運転免許自主返納支援 118 万円

運転免許を自主返納する高齢者のうち、希望する人に公共交通機関の乗車券などを交付します。運転に不安がある高齢者が、免許を自主返納しやすい環境を整えます。



雨水対策による浸水被害の軽減

防災

筒井地区雨水調整池詳細設計 4,500 万円
筒井地区幹線排水路改修工事 7,200 万円
塩屋地区排水機場詳細設計 2,000 万円

排水機能を確保し、浸水被害を軽減するため、筒井地区の雨水貯留施設や塩屋地区の排水機場を整備します。

地域防災力の強化

防災



小型動力ポンプ積載車などの更新 1,228 万円
消防水利標識・消火栓設置工事 723 万円
防災士養成 40 万円

小型動力ポンプ・小型動力ポンプ積載車など必要な消防団設備の更新を行うほか、地域や組織で防災活動の中核となる人材として防災士を養成するなど、地域防災力の強化に取り組みます。

ブロック塀の倒壊防止、住宅の耐震化の促進

安全防災

木造住宅耐震化促進事業 2,425 万円
ブロック塀等安全対策 300 万円

建物倒壊などによる災害を防ぐため、木造住宅耐震化を行う人や倒壊のおそれがあるブロック塀の除却を行う人に対し、工事費などを補助します（補助の要件など詳しくはP20・21）。

松前の五つの基本政策

快適で暮らしやすい 基盤づくり

環境整備・協働



松前駅前広場の整備

快適

整備詳細設計 400万円
整備測量・建物調査 750万円

魅力ある市街地の整備を進めるため、伊予鉄道松前駅前広場整備に向けた測量、設計業務を行います。

住環境の改善（空家の除却）

環境

住環境改善 2,170万円

地震による建物の倒壊防止、住環境の改善や景観保全のため、老朽化した危険な空家を除却する工事費を補助します（補助の要件など詳しくはP20）。



道路・交通網の充実

快適

コミュニティバス運行支援 1,337万円
町道等維持 4,740万円

町内を巡回するコミュニティバスの運行費用を補助することで安定した運営を支援し、町民の皆さんの利便性向上を図ります。また、老朽化が進む町道を計画的に維持・管理し、安全で快適に利用できるよう整備を行います。



義農大賞表彰式



観光

企画運営委託 750万円

令和3年度に公募・選考した、義農大賞受賞者を表彰するイベントを開催します（詳しくはP15）。
▶義農大賞とは、町の偉人、義農作兵衛とその精神を全国に発信するために創設した表彰制度。義農精神を体現する活動を行っている個人・団体を表彰するものです。

New

浸水害から農地を守る

農業

新田湛水防除施設水位監視カメラ設置 400万円

氾濫の危険性が高い水路の状況を早期に把握し、災害による水没から農地を守るため、新田湛水防除施設に水位監視カメラを設置します。

はんぎり競漕の魅力発信

観光

はんぎり競漕 310万円

県内高校生に参加を呼び掛け、「はんぎり甲子園」の拡大を図り、はんぎり競漕の魅力を町内外へ発信します。



New

DX(※)の推進 ※デジタルトランスフォーメーション

快適

DX推進 344万円

デジタル技術の活用により、町民の皆さんの利便性を向上させる新たなサービスの提供を目指すため、指針となるDX推進計画を策定するほか、県や県内市町と連携し「チーム愛媛」で行政のDXに取り組めます。



松前の五つの基本政策

活力あふれる にぎわいづくり

農水産業・観光



New

産業の活性化と雇用促進

雇用

中小企業振興事業 402万円

町内産業の活性化と雇用促進の持続的な発展を図るため中小企業の経営動向を把握し抱える課題を分析するとともに、産業振興の基本理念を定める条例を制定します。

古泉駅前を花いっぱい

観光

花いっぱい事業（維持管理委託など） 215万円



町のイメージアップを図るとともに皆さんの憩いの場を創出するため、古泉駅南側に整備している花畑「恋泉畑」に、季節に応じたいっぱいの花を咲かせます。

New

歴史民俗資料室開設準備

歴史文化

歴史民俗資料室の整備 536万円

町内の貴重な文化財の周知と継承を目的に、歴史民俗資料室の開設準備をします。文化センター3階に開設予定の同資料室では、展示された文化財を自由に見学できるようになります。



松前の五つの基本政策

豊かな心を育む 人づくり

教育・スポーツ



New

校務の効率化と教職員の負担軽減

学校教育

校務支援システム導入 610万円

統合型校務支援システムを導入し、これまで個別管理していた児童生徒の成績や出席情報などをまとめることで、校務の効率化と教職員の負担軽減を図ります。

New

個別最適化されたICT教育の推進

学校教育

情報通信技術支援委託 451万円

小・中学校の児童生徒に1人1台配備しているタブレット端末をさらに有効活用するため、教職員が情報通信技術支援員から技術支援を受けることで、個別最適な学び実現に取り組めます。



ホッケーの普及促進

スポーツ

ホッケー普及促進事業関係 60万円

ホッケーの聖地まさきを目指し、初心者から経験者まで楽しめる教室やイベントを行うほか、中四国、九州や関西地方の中学生を対象とした交流大会を行うなど、ホッケーの普及啓発と競技力向上を図ります。



111億8,218万円（前年比 2.2% 減）

支出項目 (Expenditure Item)	割合 (Ratio)	金額 (Amount)
歳出 (Total Expenditure)	-	111億8,218万円
民生費 (Welfare)	45.2%	50億6,043万円
総務費 (General Administration)	11.2%	12億5,000万円
衛生費 (Health)	10.3%	11億5,115万円
土木費 (Public Works)	8.3%	9億2,905万円
教育費 (Education)	6.7%	7億4,894万円
消防費 (Firefighting)	4.6%	5億1,637万円
公債費 (Public Debt)	9.7%	10億8,354万円
農林水産業費 (Agriculture, Forestry, and Fisheries)	1.9%	2億827万円
議会費 (Municipal Assembly)	1.0%	1億1,045万円
予備費 (Reserve)	0.2%	2,484万円

農水産業の振興、土地改良事業などの
農林水産業費 (1.9%)
 2億 827 万円

伊予消防等事務組合の負担金、災害対策の
消防費 (4.6%)
 5 億 1,637 万円

学校教育、生涯学習、文化振興などの
教育費 (6.7%)
 7 億 4,894 万円

道路・水路、公園整備などの
土木費 (8.3%)
 9 億 2,905 万円

町借金の元利金返済の
公債費 (9.7%)
 10 億 8,354 万円

健康診断などの保健関係、ごみ収集などの環境保全の
衛生費 (10.3%)
 11 億 5,115 万円

議員の報酬など、議会の活動・運営のための
議会費 (1.0%)
 1 億 1,045 万円

商工業の振興などの
商工費 (0.9%)
 9,911 万円

歳出
 111 億 8,218 万円

予備費ほか
予備費 (0.2%)
 2,484 万円

児童・高齢者福祉や障がい者福祉の
民生費 (45.2%)
 50 億 6,043 万円

総務管理、税の課税・収納、戸籍・住民基本台帳関係などの
総務費 (11.2%)
 12 億 5,000 万円

一般会計の当初予算
1人あたりに換算すると

1人当たり 368,574円 5,438円 down		衛生費 37,943円 (前年比 5,097円)		教育費 24,686円 (前年比 △ 26,630円)		議会費 3,640円 (前年比△ 39円)	
民生費 166,796円 (前年比 9,275円)		公債費 35,714円 (前年比 289円)		消防費 17,020円 (前年比 1,068円)		商工費 3,267円 (前年比△ 74円)	
総務費 41,201円 (前年比 2,915円)		土木費 30,623円 (前年比 3,007円)		農林水産業費 6,865円 (前年比△ 382円)		予備費ほか 819円 (前年比 36円)	

	4 年度	3 年度	増減率
国民健康保険特別会計 (国民健康保険の保険給付など)	3,241,234	3,351,562	△ 3.3
後期高齢者医療特別会計 (後期高齢者医療の保険料徴収など)	508,125	480,093	5.8
介護保険特別会計 (介護予防や介護に関するサービス)	2,971,572	2,826,868	5.1
合計	6,720,931	6,658,523	0.9